

保護者の皆様には、いつも本校の教育活動へのご支援・ご協力をいただき、ありがとうございます。

## 『特別支援教育』とは・・・

平成24年度の文部科学省による全国調査で、「特別な支援を必要とする児童生徒が、通常の学級に6.5%の割合で在籍する」という調査結果が、文部科学省から出されました。

集団の生活や学習で困難を感じている子供たちが、30人の学級の中に2人いる計算となります。そのような子供たちの持つ力を高め、困難を改善していくために適切な指導や必要な支援を行っていくというのが「特別支援教育」です。この「特別支援教育」は、すべての学校で行われるものであると法律に定められています。

### ご家庭で、お子様にこんな様子は見られませんか？

- 朝の支度に時間がかかる。
- 家の中で静かに遊べない。
- 食べ物の好き嫌いが激しい。
- 不器用で、折り紙などが苦手。
- 好きなことしかやらない。
- 指示が聞きとれず（理解できず）、行動に移せない。
- 友達とすぐけんかになる。

など



上記のようなことが思い当たるという場合、お子様は、集団の中で辛い思いをしているかもしれません。なるべく早い時期に子供の「困り感」に気付いてあげることが大切です。ストレスを軽減し、無気力や不登校、不安や怒りからキレやすくなるなどといった二次障害を生じないように、支援をしていきたいと考えています。支援開始が早ければ早いほど、子供自身も自信を失うことなく学校生活を送ることができます。

今年度、今二小学校では、『スマイル教室（個別指導教室）』や『チャレンジ学級（特別支援学級）』で、個別の支援が必要な子供たちが自分のペースで学習を行っています。また、どんなことが得意でどんなことが苦手かということが把握できる心理検査も実施することができます。

今月、個人懇談がありますので、お子様のことで悩んでいることがありましたら、お気軽に学級担任や特別支援学級担任までご相談ください。悩みはご自分だけで抱えないでください。お子様のよりよい成長を、みんなで応援していきましょう。

